



NPO法人  
堺観光ボランティア協会ニュース

9月号 (通算 256号)  
2018年 (平成30年) 9月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会  
理事長 川上 浩  
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29  
(瓦町ウエビル4F)  
Tel & Fax : 072-233-0531  
e-mail : [sakaikvk@axel.ocn.ne.jp](mailto:sakaikvk@axel.ocn.ne.jp)  
URL : <http://www.nposakai.org>

\*\*\*\*\*  
堺の観光ガイドにはかかせない、観光名所・堺伝統産業会館。定点・ツアーガイドでお世話になっているスポットです。この度、藤山隆二館長さまから、「伝統産業会館の現状とこれから」について寄稿いただきました。

\*\*\*\*\*

堺伝統産業会館館長の藤山です。



日頃は定点ガイドの皆様による丁寧で解り易い展示物の解説をはじめ、団体客来館の際の添乗ガイドとして大変お世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。

お客様の選択肢の拡がりも感じる今日この頃です。今後も、インバウンドのお客様も国内のお客様の区別なく、常に来館客第一の目線で精一杯のサービスを提供して参ります。

最後に、これからもより多くの方に伝統産業の素晴らしさに触れていただく機会を創出し続け、「来て、見て、体験し、匠の製品が買える」より身近で、フレンドリーな産業観光施設を目指します。

さて、既に皆様もご存じの様に、当館は伝統産業の情報発信の強化、伝統産業品の販売促進や後継者の育成支援を総合的に行う事を目的として、それまでの「堺刃物伝統産業会館」を平成23年10月1日にリニューアルし、新たな伝統産業振興の拠点として「堺伝統産業会館」を開設しました。ここでは、従来の刃物の展示・販売のみならず、その他の伝統産業品にもスポットを当て、線香、注染、和晒、昆布、敷物(段通)、鯉幟、自転車や和菓子などを総合的に堺ゆかりの数々の伝統産業品を展示・販売しています。



伝統産業会館 匠の間

開業より今年で7周年を迎え、開業時と比較しますとお陰様で入館客数も販売売上高も順調に拡大しており、特に最近では和食の無形文化遺産登録による海外における和食ブーム等もあり、伝統産業の基幹でもある包丁刃物類が外国からのお客様に特に好評です。また、変わった所では「たまごかけご飯用の醤油」が韓国ツアー客に人気で、一度に数十本の購買に繋がるなど、

協会の皆様には、これまで以上のご協力をいただきながら私自身も注力していきます。協会の皆様もお時間がございましたら、是非に会館にお越しください。お待ちしております。

〔追記〕

貴協会ニュースに「伝統産業」を支える方々の記事を連載されるとの事、大変嬉しく思います。百年以上もの歴史に支えられた生活道具としての数々の産業への作り手の想いが綴られることでしょう。私も読み手の一人として期待させていただきます。

【 藤山 隆二 】

## ☆「四万十川の水清く、人情深し・・・」《堺事件番外編》

【柿澤 和代】

今年の2月23日、妙國寺において堺事件150年の法要を営むので、この事件の華美（紙）芝居を創って欲しいと頼まれたのが「堺事件を語り継ぐ会」が発足した昨年8月でした。

題材が題材だけに、華美芝居になど出来ようもなく、安易に受けた自分を呪うばかり堺事件と名のつくものは片っ端から資料を読み、本を買い漁り、知れば知るほど、読めば読むほど、迷路にはまりこみ懊悩する日々・・・「やっぱり出来ませんでした」とギブアップしようと思っていた矢先、昨年12月、高知を訪ねる機会があり、南国土佐の風に吹かれ、太平洋の大海原を前にしたとき、突然、生き残って土佐へかえされた者たちの無念さが突き上げるように込み上げてきました。「この想いを華美芝居に仕立てよう！」

主人公にしたのは箕浦隊長を兄とも慕う川谷銀太郎のことでした。隊長とともに死ぬことも叶わず、土佐へ返され罪人となって四万十の入田村へ配流となった銀太郎、切腹をまぬがれた9人のうちあとの8人は明治天皇即位による特赦で罪を許され無罪放免となりますが、川谷銀太郎は特赦の前に病で罪人のまま26歳の生涯を終えた悲運の人でした。



堺事件は男性の目線で書かれたものがほとんどです。自分が銀太郎の母であり、妻であったら、どう思っただろうか？女性目線で華美芝居を創ろうと思いました。

土佐弁の指導は「龍馬の休日」のキャッチフレーズを創作された龍馬資料館案内人の橋詰さんにご指導いただき、語りは華美芝居部隊の名優Sさんが演じ、27期生のYさんがBGMと効果音をつけて、今年の2月23日、妙國寺で上演させていただきました。

華美芝居を終えた後、四万十市から来堺されていた広井さん、沢田さん両名が涙ながらに駆け寄って来られ「まさか、堺で川谷銀太郎の華美芝居を演じてくれるとは・・・」

4月22日の高知新聞に大きく「川谷銀太郎をしのぶ150年墓前祭」が報じられました。その新聞記事を見たとき、衝撃が走りました！まだ見た事もない銀太郎のお墓の写真が自分の思い描いていたものとそっくりだったからです。

悲運の人と思っていた銀太郎、実は広井さんはじめ入田地区「NEW田21の会」の皆さんや四万十市の人々の手で、ずっとお墓を守り、手厚く祀られていたことを知り、この地区の人々の人情の深さ、熱さに涙を禁じえませんでした。

⇒ 次ページへ

## ☆ 9月号 インデックス (目次)

巻頭言「伝統産業会館 藤山館長」	P 1	定点ガイド部	P 12
「四万十の水清く… 堺事件番外編」	2	広報部・インフォメーション・ガイドMEMO 他	14
<各部ニュース>		「寺子屋塾・清涼茶会」	16
事務局	3	《あらかると》「南区の古墳群」	17
総務部	4	《特集》「大和川付け替え・番外編」	19
研修部	4	《トピックス》「南海・歴史探訪幕末維新編」	20
事業部	5	《トピックス2》「住吉祭と神輿渡御」	21
ツアーガイド部	5	【9月度月間予定表】	23
企画部	11	平成30年7月 活動実績と内容	24

銀太郎の墓前祭で、その華美芝居を演じて欲しいと住民の皆さんからオファをいただき、8月3日(金)～5日(日)、10名の有志が四万十市へ向かいました。

四万十市の市長、前市長、入田地区の区長はじめ銀太郎のご遺族、箕浦隊長のご遺族、橋詰愛平の玄孫の方など、150年前の悲壮な事件とは打って変わって、四万十川の堤で談笑しながら地区の人々のおもてなし、四万十の野菜を使った焼きそばやカレーに舌つづみを打っている平和な光景、草葉の陰で銀太郎が、やっと無念さから解放され、ほほ笑んでくれているようでした。

華美芝居上演記念に頂戴した四万十の清酒と焼酎、堺へ帰って妙國寺へ奉納、150年の時を経て、箕浦隊長、銀太郎はじめ、土佐の烈士たちは故郷の酒を酌み交わしながら、いまごろ何を語っているのでしょうか・・・。

## 事務局ニュース

### \* 理事会・運営委員会報告

平成30年8月6日(月)13:30から、堺総合福祉会館会議室にて、理事会並びに運営委員会を開催しました。

**理事会**では、「気象情報が発令された場合及び地震発生時の活動中止に関する規定」が審議され承認されました。これにより大雨警報も暴風警報と同様の扱いとなりました。

また、「協会印及び理事長印の取り扱いに関する規定」も立案され承認されました。

**運営委員会**では、事務局から8月度の配置欠員の厳しい状況が報告されて、運営委員へ協力要請がありました。

また、**協会の定款・規定集の最新版**が配布されました。

※ 運営委員会における各部からの活動報告については、各部門のニュース欄を参照願います。

### \* 理事長報告

平成30年7月22日(日)午前8時50分から、大仙拝所前でイタリアから来られたイコモス(International Council on Monuments and Sites)の方の対応をしました。外務省や文化庁の方など十数名と国際会議で活躍している通訳が随行していました。

私への質問に古墳そのものの内容はありません。

・問い「緩衝地帯で火災発生した時の遺産の安全はどのようになっていますか」

答え「私たちの分野外なので、担当にお聞きください」。

・問い「観光ボランティアのことが記してある推薦書作成には参加されましたか」

答え「参加しておりません、出来上がった後、見せて頂きました」。

・問い「登録に対して除外対象があるとすれば、あなたは、どれだと思えますか」

答え「対象を古墳群として意識していますので個別には考えていません」。

・問い「ここでの活動状況について教えてください」

答え「年間、ほとんどの日で、朝から夕方まで3人態勢で古墳群の重要さ、素晴らしさを、来られた皆様に無料で、御案内しています」感想「世界的にみても類のない素晴らしいことです、推薦に当たっても、もっとアピールすべきです」。

・問い「この団体に参加する前から古墳に興味があったのですか」

答え「よく、知りませんでした。参加してから嵌ってしまいました」

・問い「登録になると多くの方が来られますが・・・」などの会話でした。

「今回の調査の内容は私だけの資料で他の方には展開しません」とお聞きしています。

秋には別の国の方が調査に来られるそうです。全ての陪塚をみた後、明日からは古市に行くそうです。

◇ **各部門からの連絡・報告**

各部門からのニュースを、参照願います。

**総務部ニュース****\* 会員の状況**

8月は会員の移動は、ありませんでした。

この結果、9月1日現在の正会員は234名、休会会員は8名、賛助会員は6名です。

**\* 交通費の振り込みの連絡**

7月と8月の交通費を、9月20日まで各人の銀行口座に振り込みを行います。

**\* 「10月活動予定表」に“秋季特別公開”活動予定表を追加します**

「10月活動予定表」に秋季特別公開期間の活動予定表を追加しています。10月からは観光のトップシーズンを迎えます、沢山のお客さまの来堺が予想されます。

10月活動予定表と併せて秋季特別公開（11月3～4日、11月10～11日）についても積極的な活動参加の“○”印を記入して提出をお願いします。

**研修部ニュース****\* 「28期観光ボランティアガイド」の募集を開始しました**

28期観光ボランティアの募集を「広報さかい」の8月号に掲載しました。その講座説明会を8月19日（日）と8月22日（水）に、堺市総合福祉会館で開催しました。両日で23人の参加者があり、協会活動についてと入門講座の内容説明を行いました。その結果、16の方が受講申込みをされました。

28期生入門講座の開講式は、9月5日（水）です。11月21日（水）の入会式までの全13回の講座研修に受講生の皆さまには全員最後まで参加されますよう期待しています。

**\* 全体研修会「大和川と堺」は中止、延期しました。**

小松清生（すがお）氏を講師にお迎えして、8月23日（木）14時から、研修部主催の全体研修会「大和川と堺」を開催する予定でしたが、台風20号の近畿地方直撃の可能性が高く、協議の結果、やむなく中止としました。100人を越える申し込みがあり、欠員がでたため定点配置にまわって下さった皆さま、ありがとうございました。

全体研修会「大和川と堺」は、会場がとれ次第開催予定です。福祉会館が工事のため申し込みが11月にならないとできませんので、決定次第お知らせします。

**\* 28期生入門講座の日程です**

月	日	曜	講座内容	開始時間	実施場所
9	7	金	座学	13:30	堺市総合福祉会館 第3会議室
	12	水	定点実地講習（前期）	13:30	大仙・仁徳天皇陵古墳拝所前
				13:30	堺市役所 21階展望ロビー
	18	火	定点実地講習（前期）	13:30	大仙・仁徳天皇陵古墳拝所前
				13:30	堺市役所 21階展望ロビー
	20	木	定点実地講習（前期）	13:30	大仙・仁徳天皇陵古墳拝所前
13:30				堺市役所 21階展望ロビー	
26	水	博物館研修	13:30	堺市博物館	

**\* 第2回全体研修会「マナー研修」を開催します**

第2回全体研修会「マナー研修」を9月21日(金)14時から福祉会館5階大研修室にて開催します。講師は、堺市役所の職員研修などでも活躍されている、もと空港スタッフの方です。

活動予定表で申し込まれた方はご参加よろしく申し上げます。

**事業部ニュース****\* 「大鳥大社夏神幸祭・宵宮」に参加しました**

7月30日(月)大鳥大社夏神幸祭・宵宮で華美芝居を公演しました。

今回は、新作「ヤマトタケル」を初披露して、230名のお客様に楽しんで頂きました。

昨年まで大鳥大社の宵宮は神事のみでしたが、今回は色々なイベントがあり、竹山市長はじめ衆参国會議員・地元の議員さんたちも駆けつけて大変な賑わいでした。来年も楽しみです。

**\* 「住吉大社夏祭り神輿御渡」を山之口商店街で歓待しました**

8月1日(水)住吉大社の御神輿が山之口商店街を通過して宿院頓宮にお渡り、フェニックス通りを横断する間の待ち時間に、山之口商店街の皆様と協力して御神輿行列の皆さんに冷たいお茶やジュースを配ってリフレッシュして頂きました。

**\* 「Mina さかいで夕涼み上映会+子ども花火大会」に参加しました**

8月11日(土)夕刻より、Mina さかい広場で夕涼み上映会・手持ち花火大会・堺少女歌劇団の出演もありました。私たちの華美芝居も皆様に喜んで頂きました。

**\* 各プロジェクトの活動**

・イベント工房 … 在庫物品等の棚卸しを行っています。

・華美芝居PJT … 7月30日(月)に、大鳥大社で新作「ヤマトタケル」を初公演。

8月公演は、7日・21日(火)日本庭園。11日(土・祝)夕刻より市民交流広場。

18日(土)～20日(月)の三日間、夏休み特別企画、清学院で「寺子屋塾」。

9月2日(日)は、山之口商店街で、ボランティアまつりで公演。

・音曲チーム … 9月2日(日)ボランティアまつり(山之口商店街)に参加。

・呈茶チーム … 8月18日(土)・19日(日)・20日(月)11時～15時、山口家住宅にて「茶会」を催します。(お茶券300円)

※一服の涼を求めて、重要文化財山口家住宅での「特別茶会」に、  
会員各位のお越しをお待ち致しております。

9月2日(日)ボランティアまつり(山之口商店街)

・JA情報誌[CROP] … 8月号は「堺区榎元町」、9月号は「百舌鳥古墳群特集」拡大版です。

8月24日(金)「南区泉田中地区」取材

**ツアーガイド部ニュース****\* 27期生対象「ツアーガイドの為のまち歩き勉強会②」を実施しました。**

7月26日(木)綾ノ町電停前から妙國寺まで歩き、妙國寺では、担当の小出さんに案内をしてもらいました。また、ツアーガイド部について説明しました。27期生6名、他1名の参加でした。

次回以降は、・8月23日(木)は、まち歩き勉強会③、堺伝統産業会館前～開口神社

・9月20日(木)は、まち歩き勉強会④、千利休屋敷跡～臨江寺

※ 27期生以外の方も、復習の為の参加を歓迎します。

## \* 「第2回百舌鳥古墳めぐりの研修」を実施します

9月4日(火)9時に、南海高野線中百舌鳥駅西口へ集合、解散は11時半頃にJR上野芝駅で。御廟表塚古墳や定の山古墳など登れる古墳を含め文殊塚古墳や大塚山古墳跡などを勉強します。

## \* 「自転車ツアーガイド勉強会」を行います

9月11日(火)花と緑の交流館1Fにて、交通ルールなどの座学後、実走もします。参加は、午前10:00～12:15又は、午後14:15～16:30のいずれかに。

## \* 「自転車古墳巡りツアー」

毎月第2日曜日に実施している自転車ツアーについて。

8月12日(日)は大仙観光案内所に集合して、12名の参加で古墳群めぐりを行いました。履中陵やニサンザイ古墳、反正陵など6つの古墳と市役所展望ロビーも行きました。

9月9日(日)は、美原区をめぐるコースです。9時に大仙観光案内所に集合して、法雲寺・平松寺・黒姫山古墳とみはら博物館へ行きます。14時までの予定です。

昼食は、各自持参です。

## \* 第24回堺新発見ツアー「府大構内散策と植物工場」

9月28日(金)10時に 大阪府立大学白鷺門前に集合です。

## ★ 平成30年7月度ガイド実施報告 (敬称略)

		ご 案 内				
日	曜	お客様	人数	時間	場 所	担当ガイド
		☆ ご 案 内 の 様 子				
1	日	J R 百舌鳥古墳群めぐり	1名	10:30 12:30	御廟山 いたすけ 履中陵 大仙公園内古墳 仁徳陵	國領
		・気温34度!という猛暑。炎天下の2時間は、大変でした。参加者も良く耐えられました。				
3	火	農協観光三豊営業支店 一ノ谷自治会協議会 (「ちょうさ祭り」で 有名な香川県観音寺市の方々)	14名	14:00 17:00	仁徳陵 博物館 展望ロビー 利晶の杜	西井
		・堺と四国香川は、戦前まで飛行艇による交通交流が盛んであったことを説明して、大いに喝采を得ました。				
4	水	堺市立榎小学校 (榎小学校6年生)	125名	14:30 15:30	榎小学校	宮尾 森口 福井 井藤
		・堺の体験授業を実施、次から次へと活発に質問があり、メモを取りながら熱心に聞いてくれました。観光ボランティアになりたい?という質問に約半数の子供が手を挙げました。				
5	木	まるく会 (シニア自然カレッジOB会)	11名	9:30 11:40	府大植物工場 学内散策	武藤 ★橋本要
		・植物に興味のある方々で、質問にも打てば響く楽しいお客様でした。植物工場見学後、お買い物や、学食までの校内散策まで楽しめました。				
5	木	名鉄観光サービス 和歌山支店 紀伊婦人会	28名	9:30 12:30	展望ロビー 利晶の杜 伝産会館	小川喜 岡本匡
		・霞んだ展望ロビーの風景を、思い思いに楽しまれ、産業会館で沢山のお土産を買われた後、「たこ昌」へと行かれました。				

7	土	羽衣国際大学 (アメリカからの交換留学生)	20名	13:00 17:00	清学院 薫主堂 鉄砲屋敷 山口家 榎並 伝産会館 利晶の杜 まち家カフェ	川上浩	
・明るくてノリの良い留学生でした。刃物や和菓子の体験で歓声!!							
8	日	J R 百舌鳥古墳群めぐり	2名	10:00 12:30	御廟山 いたすけ 履中陵 大仙公園内古墳 仁徳陵	寺口	
		・大変蒸し暑い日となりました。お客様は若い方で元気よく歩いてくれ、終了時は汗だくでした。最後に「ありがとうございました」のお言葉をいただき疲れもとれました。					
		S 37 美木多小学校及び福泉南小学校同窓会	24名	10:00 12:00	南宗寺	川上浩 浅倉	
		・堺に60年近く住んでいても初めての人が多く、案内を聞くと改めて堺の歴史とその内容の深さに驚き、小・中学校の同級生の皆様は今からでも堺巡りをしようと言っていただき、秋の特別公開をご案内しました。					
		美木多檜尾女性部	32名	12:35 15:00	利晶の杜 方違神社 江久庵	杉本 濱田	
・女性が多く晶子記念館では、晶子ファンが多かったのか熱心に説明も聞いて下さり頷かれました。							
8	日	堺自転車ツアー (脚力充分の2回目のお客様)	2名	9:00 12:00	仁徳陵 履中陵 いたすけ 御廟山 ニサンザイ 方違 神社 反正陵 展望ピラー	中村博 柴田友	
		・参加者から来月も友人と参加したいとお声をいただきました。感謝! 感謝!					
9	月	青海省循環型経済社会研修団 (議会の議員さん研修会)	20名	10:00 11:40	府大植物工場	西辻	
		堺市の見学場所は、植物工場のみでした。皆様、熱心に質問をし研修されていました。					
		大川 法子 様 (日本占術協会会長とご友人)	2名	10:00 16:30	展望ピラー 利晶の杜 利休屋敷跡 南宗寺 仁徳陵 博物館	野澤	
・快晴で暑い中、汗をかきながら予定通りのご案内でした。お互いに楽しんで回ることが出来ました。							
11	水	ボランティアグループ 東三国ヶ丘 (東三国ヶ丘校区ボランティアの皆様)	13名	9:45 12:00	利晶の杜 利休屋敷跡 宿院頓宮 開口神社 晶子生家跡	武藤	
・地元、堺を良くご存知の皆様。しかし、気が付かなかった事、案内で初めて分かった事、不思議な事…皆様、賑やかに反応して下さい。「君死に…」とうたった方達もいらっしやいます。							
12	木	J R 東海ツアー 西日本旅行企画室 50+	12名	11:30 14:50	展望ピラー 履中陵 仁徳陵	萩野	
大変、蒸し暑い日でしたが、皆様、元気に大仙公園内を歩かれました。							
13	金	政令指定都市商業担当課長会議 (堺市産業振興局 商工労働部商業流通課)	25名	8:45 12:00	博物館 VR 仁徳陵 利晶の杜 山之口商店 開口神社	柿澤 木村義	
		・猛暑の中でのハードスケジュールでしたが、堺の魅力を博物館 VR や正式なお茶体験を通してお伝えすることができました。					
		上北山村教育委員会 吉野ユネスコ協会	17名	13:30 16:30	展望ピラー 日本庭園 博物館 仁徳陵	西本 江川栄	
・歴史通の皆様で掘り下げた質問が多くありました。数人の方は、堺にも違った歴史がありますね、堺の歴史の一端に触れて新しい発見ができたとお言葉をいただきました。							

13	金	岡電観光センター 大人の遠足	38名	13:10 15:30	展望ロビー 妙國寺 南宗寺	小出 田辺	
・展望ロビーで堺の街の全体をご案内してから、堺の名刹、2ヶ寺を案内、熱心に話を聞いて頂き堪能していただきました。							
15	日	近畿大学通信教育部 梅友会	12名	9:40 16:00	利晶の杜 利休屋敷跡 晶子生家跡 展望ロビー 仁徳陵 伸庵 博物館 緑化センター	森口	
		・高齢者の方も多い団体でしたが、炎天下の中約6時間熱中症になることも無く、ご案内できました。参加者に視覚障害者の方がおられ支援友の会のボランティアの方が付き添われました。					
		三木南地区 区長協議会	8名	10:30 12:00	仁徳陵 博物館	小出	
・研修会が目的で、歴史文化に精通している方々、興味深く聞いて頂きました。							
16	月	第23回新発見ツアー 「堺人の心意気はここにも！」	14名	10:00 12:30	神明神社 堺事件/天誅組の碑 旧堺燈台 大浜相撲場 能楽会館	谷崎 浅倉	
		・堺燈台の内部公開は、この機会を逃すと来年まで見学できないので皆さん熱心に聴いていました。また相撲場では小学生大会があり観戦もできました。お客様からは新発見ツアーの今後の予定を早く知りたいとのお言葉があり、楽しみにされています。					
18	水	堺区役所企画総務課 (堺市立大仙小学校)	75名	9:40 11:20	仁徳陵	川上浩 木村義 弘瀬 井藤	
		・拝所前でのガイド挑戦日。市長や報道陣・保護者・自治会の応援もあり、リハースルとは見違えるほどの進化を見せてくれる児童達でした。郷土への関心を高めてもらうことを目指す取り組みです「古墳のこと、いっぱい知ることが出来ました。古墳の素晴らしさを、みんなに伝えたい、ありがとう。」頼もしい児童達です。					
19	木	(株)クロスロード堺 (「堺におけるインバウンド観光の現状と課題」講演)	20名	18:00 19:00	コフンカフェ	川上浩	
		・来年に向けての動きとそれに伴う対策、民間に期待されることなどを、古墳群の魅力を伝えながらお話ししました。					
21	土	古伝承を訪ねる会 (平均年齢75歳の皆さん)	14名	8:45 17:30	展望ロビー 方違神社 堺ミュシャ 宝蔵神社 愛染院 華表神社 大泉緑地	土井	
		・面白いコースですが、酷暑の中、長時間の強行スケジュールでした。途中、狭い道をバスが通行不可で歩く事になりましたが、なんとか無事ガイドをすることが出来ました。					
		堺西地区保護司会 (毎年お越しいただいている皆様)	83名	10:00 15:30	南宗寺	宮尾 野澤 井藤	
		・毎年、恒例の南宗寺見学とお茶会です。ご案内も、初めてのように聞き入っていただき、感動もして頂きました。子供達とは、クイズ等を織り交ぜて楽しくご案内できました。					
		伊勢国際観光「村井社中」 (裏千家流の師匠とそこご一行様)	19名	12:45 16:30	利晶の杜 利休屋敷跡 南宗寺 仁徳陵 博物館	木村義	
・利晶の杜・南宗寺や茶室・庭園に関心を持たれ、熱心に鑑賞されました。ガイドは堺の歴史物語を中心にお楽しみいただきました。							
23	月	Kasetsarts University「YMT0722TR」 (タイの農業省の職員の皆さん)	37名	10:00 11:30	府大植物工場	西川 奥野 ★森口	
		・質問が多くあり、植物工場の関心の高さを実感しました。また、質問にはかなり専門的な知識が必要とも感じました。皆さん笑顔で接して頂きとても温かみがありました。					

23	月	Kasetsarts University 「YMT0722TR」 (タイの大学のお客様)	75名	13:30 15:25	府大植物工場	新井 奥野 永田 ★稲田	
		・専門的な質問がガイド中にも出て、ガイドとして良い経験をさせていただきました。ユニバーサルデザインルームの誰でも働ける植物工場の研究開発に興味を持たれていました。					
27	金	J C Wトラベル「J C W0723 P E K」 (中国河南省の皆様)	14名	10:10 11:50	府大植物工場	西辻	
		・お子様も参加の会社見学。レタスを買われ試食されていました。滞在は7日間の予定です、この後は京都へ向かわれました。					
		大和ハウス工業 堺支部協力会サロンドさかい (10歳から60歳代の女性の方々)	12名	14:00 16:10	水野 南宗寺	川上由	
		・水野鍛錬所では火打ちの火花に歓声上がり、南宗寺の八方睨み龍でも感嘆され、最後はかんだ袋で涼をとられて帰路に向かわれました。					
		老人ホーム ケアハウス和風荘 (老人ホーム入居の方々)	9名	13:20 13:55	展望ロビー	長尾	
		・「外に出る機会を多くしよう」の方針のもと展望ロビーにお越しいただきました。車椅子・歩行器利用の方とで多くの移動時間を要しましたが、警備員さんにもご協力いただき無事終わりました。皆さん、熱心に耳を傾けていただき、展望ロビーの喫茶も楽しまれ元気に帰られました。					
28	土	自転車博物館 (関ジャニ∞のジャニ勉の番組撮影)	10名	9:30 16:40	自転車博物館	大橋	
		・自転車博物館見学とクラシック自転車試乗の番組撮影。爆笑トークの中に世界の冠たる堺の自転車技術を印象付けられたと思います。					
		堺市論理法人会 (明るく陽気な健脚なの方々)	11名	14:00 17:10	展望ロビー 開口神社 菅原神社 妙國寺 本願別院 寺町 山口家 伝産会館	藤井安	
・「ガイドがいなかったらわからない事づくめだ」堺にこんな歴史のある観光地が多くあるのに驚かされていました。大変、喜んでいただきました。							
29	日	和田 千恵美さま《自転車ツアー》 (広島県三原市の明るいご夫婦)	2名	10:00 16:30	仁徳陵 自転車博物館 履中陵 いたすけ 御廟山 百舌鳥八幡 展望ロビー 旧堺燈台 利休屋敷跡 利品の杜	柴田友	
		・自転車博物館を熱心に見学されました。いたすけ古墳では、地元の方が亀・鯉に餌を投げて、スッポンまで集まりました。その後、名物のタヌキ3匹が登場して写真撮影を楽しんでおられました。					
29	日	J R 百舌鳥古墳群めぐり(女性2名)	2名	10:30 12:30	御廟山 いたすけ 履中陵 大仙公園内古墳 仁徳陵	山下昇	
		・歩くことに興味がある友人女性です。紀三井寺、粉河寺めぐり……西国寺巡りに行かれるとのこと。					

#### ◆ 市役所展望ロビー小学校社会見学(7月度)

★大雨で電車が止まった影響で延期になった小学校が、夏休み直前に来られました。

日	学校名	参加生徒数	クラス	日	学校名	参加生徒数	クラス
3	福泉中央小学校	生徒 68人	2	18	槇塚台小学校	生徒 78人	3

## ◇「榎小学校6年生」へ出前授業に

7月3日(火)に、「堺の良さを発信している人たちから学ぼう」をテーマの出前授業に、私たち観光ボランティア4名(宮尾・森口・井藤・福井)が榎小学校を訪問しました。

この学校は、以前から堺を学ぼうということで、堺の歴史、地域のこと、行事など色々なことに興味を持って体験されています。

今回、私たちゲストティチャーとして4名が、各クラスを1名ずつ担当しました。なぜボランティアを始めたの?から、堺の1番好きなどころ等、私たちの体験談や堺に対しての思い等いっぱいお話し、児童からも質問がいっぱいありました。予定の45分が瞬く間に過ぎ、最後に「観光ボランティアをしてみたいですか?」のこちらからの質問に、クラスの半分くらいが手を挙げてくれました。

翌日には、榎小学校のホームページに私たちの授業風景がアップされていました、その顔がすごく楽しそうに写っていました。私たちにとっても貴重な体験ができた日でした。

## ◆7月度 堺市博物館での「仁徳天皇陵古墳VR(VR体験ツアー)」

## 担当ガイドとお客様数

日・曜	1/日	3/火	4/水	5/木	6/金	7/土	8/日	9/月	10/火	11/水
ガイド氏名	川上浩 柴田友	土井	小川正	国領	藤井安	西井 田辺	西井 川上由	山田豊	柿澤	土井
お客様	60名	8名	13名	7名	4名	20名	40名	7名	9名	18名
日・曜	12/木	13/金	14/土	15/日	16/月	17/火	18/水	19/木	20/金	21/土
ガイド氏名	藤井安	川上浩	土井 奥野	木村義	田辺 川上由	西川	田辺	西本	山下昇	西井 山田豊
お客様	10名	44名	52名	46名	63名	20名	15名	7名	10名	29名
日・曜	22/日	23/月	24/火	25/水	26/木	27/金	28/土	29/日	30/月	31/火
ガイド氏名	小川正 中辻	寺口	藤井安	野澤	藤井安	森口	柿澤 西本	野澤 中辻	柴田友	川上由
お客様	63名	0名	31名	19名	30名	20名	62名	59名	19名	40名

## 【一言】

- ・夏休みに入り、家族連れが多く参加されました。自由研究で中学生が体験されました。
- ・母親に勧められて、20代の地元の女性の方が一人で参加。画像を念入りにみて充分楽しんで頂きました。
- ・リピーターの方がお友達を連れて来られる。嬉しく思います。

## ◇「VRは楽しい」

【川上 由】

皆さんも拝所前でよくお客様に聞かれる質問がありますよね??「この景色を上から見れる場所はないのですか?(古墳全体の写真を見ながら)」「展望ロビーへ行っても良く分からなかったのですが、他にどこかないのですか?」。

また、こんな質問も有りますよね、「中には入れないのですか?中はどうなってるのですか?」そのようなお客様の気持ちをくんで考え出されたのが、このVR(Virtual Reality)仮想現実の世界です。お客様がドローンに乗って、空中300mの高さからの世界を体験する事ができ

ます。そして目玉はもうひとつ！1600年前、つまり百舌鳥古墳群が出来た時代にお客様といっしょにタイムスリップして、古墳の中に入っていくのです。

私達ガイドはこのVRの案内人となり、お客様へドキドキ、ワクワクを演出するお手伝いをします。ほんの30分弱ですがお客様をこの仮想現実の世界へといざなうのです。

早いもので、このVRがスタートして一年が経ちました。最初の頃は我々ガイドも少々戸惑っていましたが、今は各メンバーがそれなりに個性を出しながら、このVRの世界をお客様と楽しんでいきます。(少々個性が強すぎる方もいますが…)

終了すると会場は拍手喝采！！ 質問も飛び交います。

インターネットやガイドブックを見て、お客様が遠方からも沢山いらっしゃいます。そしてこれから先どんどんお客様は増えていくことでしょう。我々ガイドも更にお客様に満足していただく為に、そのナビゲーターとして創意工夫して盛り上げていく所存です。

さあ、始めましょう！！ It's a Show Time!!

## 企画部ニュース

### \* 学校連携関連

- ・羽衣国際大学：夏季インターンシップ受入れを承諾しました。

1名（当初2名）の学生を9月1日（土）～14日（金）で10日間受入れを行い、堺の魅力を感じてもらおうと共に、当協会への理解を深めてもらいます。

実習は各定点と、仁徳天皇陵拝所前と市役所21F展望ロビーでのガイド体験を予定しています。実習先での受入れをよろしくお願い致します。

- ・ダイワアカデミー大和語学教育学院の留学生を6月度に引き続き7月23日（月）に清学院を案内し通訳研修のお手伝いをしました。6名の学生がガイド体験をしました。

### \* 広域連携関連

#### \* 「南海・歴史探訪ガイドウォーク」

7月18日に第6回実行委員会が開催されました。

9月22日（土）にさやか観光会主催で第3回「新田開発に翻弄されつつ守り抜いた隠田秘話」が行われます。9：30 金剛駅西出口集合です。

#### \* 「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク」

7月24日（火）に第9回実行委員会が天理市役所で開催されました。第5幕のテーマと開催時期について検討しました。次回実行委員会は10月18日（木）奈良の高取で行われます。

#### \* 「美原まちデザイン広場」

7月23日（月）に美原区役所で打合わせがありました。第2回のまち歩きについて討議され、毎年開催している「美原区ハート&トークセッション」と抱き合わせで12月2日（日）に開催することが決まりました。

### \* 「ワールドマスターズゲームズ2021関西 サッカー競技」

第1回の実行委員会専門部会が7月17日（火）と20日（金）に堺市役所で開催されました。堺市基本計画（案）について説明がありました。サッカー：3,500人、フットサル：2,500人の合計6,000人の参加者が見込まれます。

堺観光ボランティア協会は総務部会とおもてなし部会に属し、大会を契機とした来訪者に広く

堺の魅力をPRするとともに、スポーツを活用した観光の推進を担います。  
次回会議は8月24日です。

### **定点ガイド部ニュース**

\* さかい利晶の杜企画展「茶の湯の復興」—幕末・明治の千家茶道を中心に—が、開催されます。

さかい利晶の杜にて、企画展が9月14日(金)～10月21日(日)に、開催されます。

本企画展では、幕末から明治にかけて大きく変化する時代の流れの中で、茶の湯の復興における千家宗匠の功績を振り返るとともに、千家宗匠の活動を地方ゆかりの茶道具を通して紹介します。

ぜひこの機会に、さかい利晶の杜・企画展示室へお越しください。

\* 「慧海さんは何故黄檗宗の僧侶になられたのですか？」

清学院7月の活動日誌に「慧海さんは何故黄檗宗の僧侶になられたのですか？」との質問がありました。教えてください！との記載がありました。

※ 堺市博物館研究報告第36号(平成29年3月)「河口慧海と堺の人びと」高山龍三には下記のように記述されています。以下抜粋です。

⇒ 堺の南宗寺の和尚の紹介で、明治16(1883)年、弟ふたりを大阪難波の黄檗宗 瑞龍寺(通称鉄眼寺)につれて行き出家させた。僧になりたいと願った慧海のあたかも身代わりのもようでもあった。慧海はその住職の佐伯蓬山と知り合い、家が浄土真宗であったのに、黄檗の禅のとりこになってしまった。-----大阪にもどった慧海は、当時大阪長柄の正徳寺に隠居していた蓬山のもとに行き、堺に帰らず、そこで参禅、仏事、読経などを見習った。

三ヶ月ほどであったが、一通りの僧としての仕事を身につけた-----。

\* 「定点から定点へのお薦めアクセス」を作成しました

定点活動において、お客様から次のスポットへのアクセスを聞かれることがよくあります。定点ガイド部では大仙を中心としたモデルアクセスを作成しました。各定点にファイルしますので、ご利用ください。

\* 8月13日(月)全体部会を行いました

下記は、各定点の7月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

### **A グループ(川上由)**

\* 堺市役所21階展望ロビー(担当:平野・大北・南野)

- ・横浜からのお客様、一日かけて堺観光の予定。仁徳天皇陵古墳の拝所前まで歩いて行くと言われたが当日の外気温32度のためバス、電車のご利用を薦めました。
- ・ツアーオブジャパンの写真展に息子が映っているとのことで、堺在住のご夫婦が見学に来られました。
- ・夕陽スポットの時間表示が5時52分とありお客様より「おかしい」との指摘を受けました。本来は6時51分。配置に入られた方は時間を十分確認してください。

\* 堺駅観光案内所(担当:重永)

- ・呂宋助左衛門の像とハイタッチしている小学生3人に「この人知っている？」聞くと、「誰なの？」との返事。当時の戦国大名や千利休のお話しをして盛り上がり、「そんなにすごい人やったのや」と驚きの声をあげていました。

**\* 大仙公園観光案内所 (担当：川上由・堀・江川信)**

- ・ポーランドからの留学生、日本史を学び、仁徳天皇陵古墳にも詳しく。なぜ巨大古墳なのか？なぜ奈良から堺へ古墳が？日本人の美意識？など多くの質問がありました。日本の自然を愛する心、親切心が好き・・・とのことでした。
- ・韓国の若い男性2人。タブレットを使用して案内。片言の日本語が話せて「なぜ仁徳天皇陵古墳は調査出来ないのか」しつこく聞かれるが、「宮内庁が認めないので」といってもうまく伝わらなかった。海外から来られた人々はそう疑問に思うことが多い。
- ・東京からの家族連れ4人。小学6年生の男の子がガイドの説明をメモを取りながら熱心に聞いてくれました。夏休みの自由研究などのため家族連れで仁徳天皇陵古墳を訪れる人が多いです。

**B グループ (戒田 啓二)**

**\* さかい利晶の杜 (担当：松村・柳)**

- ・石川県からの男性。友人の勧めでさかい利晶の杜に来館。観光案内展示室の中世の日本地図と世界地図、当時の技術でどうやって描いたのだろうと感心されていました。
- ・富田林、河内長野からの仲良しグループ。「満喫しました。いろいろな人物、時代を語れる場所っていいですねー。」と感想。

**\* 千利休屋敷跡 (担当：辻・梅影・林マ)**

- ・お茶室の畳を納める仕事をしているという男性。色々な茶室を見てきたそうです。以前から千利休屋敷跡に来たいと思っており念願がかなったと喜んでおられました。
- ・中百舌鳥からのご夫婦。生後半年ほどの赤ちゃんを連れて来られましたが、今日は非常に暑いため利晶の杜へ行って下さいと促しました。
- ・女性3名。利晶の杜で女性大学の講義が有り終了後ここへ来られた。以前の屋敷跡のことをよくご存じで立派になって良かったですねと云われていた。

**\* 山口家住宅 (担当：今村・西岡英)**

- ・「夏を彩る注染」展が開催され、夏をイメージした注染手ぬぐいが展示されました。「古い家にはやっぱり注染が合う」「注染の春夏秋冬は季節感があり素晴らしい、素敵でした。」等の感想がありました。
- ・ダイワアカデミーよりフィリピン人16名、ベトナム人7名と先生2名が来館。英語パンフレットを使用し、読んでもらいながら案内しました。
- ・泉佐野市でインバウンド対応のボランティアをしている団体11名。堺市は歴史のある観光資源の豊かな街であるのに、インバウンド対応が遅れているという指摘を受けました。

**\* 清学院 (担当：澤井・林茂・佐野)**

- ・ソウルから20代の男性2名来館、大阪周遊パスを見て来られたとのこと。この後仁徳天皇陵古墳へ行かれました。
- ・市内の小学生と両親来館。夏休みに入ったのでスタンプラリー目的に廻っているとのこと。子どもさんがとても地図や国旗に興味があるとのこと、チベットの地図を熱心に見ていた。ご両親は、「寺子屋が見れるとは！」と喜んでおられた。

**C グループ (上野 数男)**

**\* 南宗寺 (担当：中西慎・澤野・大橋)**

- ・60才代の男性と若い男女2名。水琴窟の音色に「オルゴールが鳴っているようだ。こんなに素晴らしい音色は聞いた事がない。これだけで別料金を払ってもいいくらい」と大変なお褒め言葉を頂きました。
- ・千葉、市川市からご夫婦。老師が書かれた掛軸に感銘し一度訪ねたかったとの事。案内終了後、老師に会いに行かれた。
- ・福岡からの男性。名前が「祐徳」なので「徳」があるようにと徳川家康の墓の前で長い間お参りされていた。「家康が鯛の天ぷらで死んだというのは都合の良い作り話。僕は此処で亡くなったと信じます。」と言われました。
- ・坐禅会の方より、禅堂入口の板に土足で上がっている方がいると注意を受けました  
⇒ツアーガイド・定点ガイドの会員、お客様も土足で上がらない様注意願います。

#### \* 妙國寺（担当：小出・箕野）

- ・岡電観光センターの団体38人。資料室で、故郷の備前長船がここで見られるとはと感激されていた。
- ・住吉より女性5人。日珧上人愛用の蛙形の硯や三好薩摩守長基（元長）遺愛の閣棟鶏鳴（かくとうけいみょう）香炉を大変気に入り、「感無量です」と何度も見入っていた
- ・四日市より夫婦。大阪城に行った時、妙國寺の蘇鉄の事を知り、見たくなかったので拝観に来た。資料室の展示品にもびっくり。

#### \* 堺伝統産業会館（担当：奥野）

- ・東京のご夫婦。「前日に高野山でお土産に『高野山』という名前の線香が売られていて製造地が堺だった」とのことで、堺の線香に興味を持って来館されました。
- ・大阪市の夫婦。ご主人が退職され料理をしたいのと包丁購入のため来館。奥様曰く「(主人は何でも形から入るんですよ)」とお話し。
- ・大阪からの男性。研ぎ室の羽布（ばふ）に興味を示されて、その材質の質問を受けたが答えられず。  
⇒ 一般的に、布や皮革など柔らかい素材に研磨材の粒子を付着させたもの。  
仕上げ段階で光沢仕上げに適している。

#### \* 自転車博物館（担当：大橋・溝）

- ・摂南大学の先生と学生、堺の歴史を勉強中ということです。猛暑の中仁徳天皇陵古墳に向かわれました。
- ・布施からの男性。初めは写真を撮るのが目的で来館したので案内は不要とおっしゃっていたが、写生の小学生が多数前に座っているので簡単に案内を始めると、質問も多くあり閉館ぎりぎりまでおられて再度写真を取りに来ますとのことでした。

### **広報部ニュース**

#### \* ホームページ画面が新しくなります。

- ・9月中旬から協会のホームページ画面が新しく変わります。現在HP上にあるものは全て引き続いて更新されています。今後、「こんな使い方が出来たらいいのに」というご意見やご希望があれば、広報部員までご一報ください。

#### \* 公開講演会のテーマが決定しました。

- ・今年度の公開講演会の概要が決まりました。

テーマは「行基生誕 1350年」講師は、奈良市菅原町・「喜光寺」高次喜勝副住職をお招きします。

開催日：平成31年2月20日（水）、開催場所：堺市総合福祉会館大ホール

※ 詳細が決まり次第、協会ニュースとHPでお知らせします。

## 《インフォメーション》

### \* 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けての活動が進んでいます。

国内推薦されました。

堺の歴史や文化を学びましょう！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	9月 12日 (水)	14:00	堺市立国際交流プラザ 6階会議室
・韓国語同好会	9月 6日 (木)	10:00	堺市立国際交流プラザ 6階会議室
・中国語同好会	9月 20日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ 小会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

## 《ガイド便利MEMO》

### ◆ 施設、店舗の9月の休館日(休業日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	4日・11日・18日・25日
・堺アルフォンス ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	3日・10日・18日・25日 (※祝日は開館)
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	3日・10日・18日・25日 (※祝日は開館)
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	3日・10日・18日・25日 (※祝日は開館)
※ VRツアー・古墳シアターは、(10日・18日・25日) 観覧できます。		
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	3日・10日・18日・25日
・堺伝統産業会館	無休です	
・さかい利品の杜	(休館：毎月第3火曜日)	18日 ※観光案内展示室は、無休。

### ◇ J：COM堺「堺シティレポ」9月の放送予定

堺市広報課より9月のJ：COM堺の「堺シティレポ」放送予定が入りました。放送された場所に行く方法や概要など、問い合わせがあるかも知れませんので、注意して見ておいて下さい。

『J：COM堺 11チャンネル 15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』

※特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合があります。

	放送日	番組名
9月	9月1日(土) ～ 7日(金) まで	次世代へつなげよう平和への思い ～自由都市・堺 平和貢献賞～ (1)
	8日(土) ～ 14日(金)	古代のロマンにふれる 百舌鳥古墳群 (1)
	15日(土) ～ 21日(金)	お互いに認め合う やさしいまちへ (6)
	22日(土) ～ 28日(金)	世界に開かれた国際都市・堺をめざして (5)
	29日(土) ～ 10月5日(金)	みんなで作る中心市街地のにぎわい (5)

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページをご覧ください。

<http://www.city.sakai.lg.jp/city/koho/catv.html>

**\* 「堺市立町家歴史館 夏休み特別企画」が開催されました**

夏休み特別企画として、“清学院寺子屋塾”を清学院で、“山口家清涼茶会”を山口家住宅において、8月18日(土)・19日(日)・20日(月)の三日間、開かれました。

**◇ 町屋歴史館夏休み特別企画****\* 「清学院寺子屋塾」****【西岡 英彰】**

8月18日(土)10:30~12:00から、夏休み特別企画として、「清学院」で観光ボランティアメンバーを講師として、寺子屋塾が開催されました。

この清学院には、嘉永元年(1848年)から学制公布の明治5年(1872年)まで「清光堂」という「寺子屋」が営まれていました。庶民の子弟を対象に「読み・書き・算盤」基本に実生活に必要な地理・人名・歴史・古典の知識や教養に留意した「堺の町名などを題材にした教科書」も用意されていました。近所に住んでいた「河口慧海」も学んでいます。

寺子屋塾には、小学生の子供さん4名とご家族3組とが参加されました。最初は、紙芝居で古墳の話を、古墳の形と数をクイズ形式で、少し難しかったみたいかな。次は、鉄砲の話を3連式の鉄砲を見せてお話を、子供たちに鉄の知識を聞くために、講師が奈良の大仏・東大寺のことを誰が建てたかと質問すると「聖武天皇」「行基」と。行基はどこで生まれたのでしょうかという質問も「河内の国」と、これはびっくり歴史が好きな子供さんがいるのですね。



次は、堺の町名を教科書にして、習字を。昔の寺子屋と同じです。最後のバックトンボ作りは、盛り上がりまして楽しそうでした。150年ほど前には、実際にここで子供たちが学んでいたのは、感慨深いです。

最後は、終了証書と缶バッチなどの記念品授与で終了でした。

**\* 「山口家清涼茶会」****【柳 日登美】**

8月18日(土)・19日(日)・20日(月)の3日間、山口家住宅において「清涼茶会」が開催されました。呈茶チームの方々も早くから万全の準備をしてお客さまをもてなしていました。

茶室と次の間には毛氈が敷かれ、時折風鈴の音が聞こえ、注染の手ぬぐいが美しい絵のように掛けられていました。そんな清々しい空間で庭を愛でながら、お茶を介してちょっとした会話を楽しむ様子は、素朴なお茶の心を表しているように感じられました。



また夏休みの最中ということもあり、小さなお子さんとお茶を楽しまれているお客さまもおられ、清学院寺子屋塾の合間に来ていた紙芝居隊のサプライズ上演もあり、喜んでいただけました。

普段は「約400年にわたって使われてきた屋敷」という過去形でご案内している山口家住宅ですが、今回はその感覚を実際に体験していただける素晴らしい機会でした。お客さまにはより深い山口家住宅の良さをお茶と共に味わっていただくことができました。

《あ・ら・かると》

\* 「南区のニュータウンに眠る歴史と文化」 No.2 南区の古墳群 その1

【瀬島 正司】

堺の顔の一つは古墳です。しかし百舌鳥古墳群、中でも仁徳天皇陵古墳が突出して有名なので、堺には後期とか終末期の古墳は無いように思われている節もあります。陶邑には、工人たちの職長やこれらの集団の長（おさ）等を葬ったと思われる古墳が沢山あった筈ですが、ニュータウン建設を始め、種々の開発等であまり残っていません。その中で解り易いものをご紹介します。

堺市教育委員会は、堺市立埋蔵文化財センターが編集した「陶邑窯跡群」という小冊子を平成13年3月31日に発行しています。此の裏表紙に「スエムラマップ」と題する解り易い図が有ります。これを利用して頂き、紹介します。



手始めは、檜尾塚原古墳群（前頁の図の14）です。昨年（2017年）5月、堺市文化財課土山（どやま）さんに案内していただき、観ボラニュース7月号に掲載したものです。

#### 【檜尾塚原古墳群 8号墳】

泉北高速鉄道光明池駅の東側にある泉北メモリアルホール（鴨谷台）東の泉北2号線に近接したところ（鴨谷公園の一部）にあります。全国でも数少ない通称「かまど塚」と呼ばれる「木芯粘土室古墳」です。窯槨墳とも呼ばれているようです。現在のものは、南西約70mから移築し、復元されたため、土とコンクリートで覆われ、1m四方の入り口があり、鉄格子の扉が塞いでいます。中には、粘土郭を構成する木組みがあり、鉄格子の間から覗き込むようになっています。この古墳は、円墳ですが径は不明、残存高1.5m、かまど塚ではあるが、燃やされていないようです。というのも、木組みを作り、その中に遺体を安置し、火葬したのもあるということです。

ここで、1956年に堺市陶器千塚の発掘調査に参加した石部正志氏著「大阪の古墳」の内容を引用して、3タイプある木芯粘土室古墳を整理しておきます。

- ① 陶器千塚型の、遺体を葬って火葬しているもの。
- ② 木芯粘土室を組み立て、木組みを粘土で覆った後、墓室のみを内外から火で焼き固め、しかる後に遺体と副葬品を搬入する形式。遺体は甕棺や木棺などに埋葬。しかし、著者の石部氏はこの形式が有るのかどうかは確認できていないと記しています。

（1980年の同書発行時点現在）

- ③ 長さ比べ、横幅の広い長方形の木芯粘土室を組み立て、木棺や陶棺に葬った遺体を埋葬し、火は使っていないもの。木組みは、土で覆われている（8号墳はこのタイプを復元している）。

タイプ①についての説明が多少理解できていなかったのですが、その後、和泉市信太千塚について調べていた時に、偶然、火葬した古墳についての説明に出くわしました。信太山の尾根上と云ってもよい場所に和泉三宮である式内社、聖神社がありますが、この境内に二つの古墳が有ったということです。今年（2018年6月22日）、現地に行ってみました。1号古墳が有ったと思われる場所は雑木と雑草に覆われ、確認できませんでした。仕方がないので、瀬川芳則氏著「楽しい古墳めぐり」の一説を引用させていただきます。

1号墳は花崗岩と和泉砂岩で出来た、横穴石室を持つ直径約30m、高さ約1.5mの円墳と紹介されていますが、問題は2号墳です。原文を紹介します。

現在は消滅してしまいましたが、北の鳥居の前に直径30mぐらいの円墳が存在していた。この古墳には、東槨と西槨の二つの埋葬施設があり、両槨は、L字型に配置されていた。両槨とも須恵器窯によく似た構造をもち、平面は長方形で焚口、焼成室、煙出しを備えており、内部には丸太の圧痕のついた焼けた粘土槨の断片が落ち込み、その下には黒く焦げた丸太の残片が残っていた。

西槨の焼成室には3体の遺骸があり、うち2体は火葬されていたことが確認され、また東槨では4つの木棺に8体の遺骸を収めて火葬されていた。この古墳の築造時期は、同時に出土した須恵器などから7世紀初頭と考えられている。本古墳のように窯槨を主体とする埋葬主体を持つ古墳は、「かまど塚」などと呼ばれ、堺市陶器千塚などの須恵器窯跡群内に多く知られており、最近では、東海地方をはじめ多くの地域での調査例が増加し、わが国における火葬の初現および須恵器生産集団との係わり



りの中で注目されている。

以上が、聖塚古墳群の説明からの引用ですが、8号墳は残存高1.5mの円墳と前述しましたが、副葬品は須恵器多数と馬具、武器、玉類多数でした。築造年代は6世紀と言うことです。念のため、1983年4月28日に8号墳を発見したと大阪府教育委員会が発表した翌日の朝日新聞記事を紹介しておきます。

「(かまど塚は)須恵器の窯跡地帯に近接してあることから、須恵器生産に携わった氏族の墓とみられ、仏教思想による火葬との関連を指摘する研究者もいる。これまで、西は兵庫、東は埼玉までの間で二十数基見つかっているが、うち九基まで泉北丘陵など(大阪)府下に集中している。」

## 《特集》 大和川付替え300年に想う！ 番外編

【広報部 田辺 謙二】

協会ニュースの6月号から8月号で、木村副理事長執筆の「大和川付替え300年に想う！」の特集記事を掲載しました。前編では河内平野の地形、川違え運動と反対運動、中編では工事施工と設計内容、付帯工事を、そして後編では付替工事による明暗と付替えによる影響等について、詳しく学ぶことができました。

今回の番外編では、特に後編部分を検証すべく現在の大和川周辺を散策してみました。

### 西除川と大和川の分岐点

中編には、「新大和川と交差する河川のうち、大乗川と西除川が付け替えられた」と記載されています。「西除川は直線状に北流していたが新川との合流点での水準が合わず、水位によって流れが阻害されるために途中から西の方向へ切り替えられ、落堀川に入って水準が合う浅香山谷口で新川へ合流された。また、平成の大改修では、常磐町2丁で合流する様に改修され、不要になった西除川に阪神高速大和川線が造られている」とあります。

昭和61年(1986)から足かけ16年の歳月と総事業費447億円もかけられた大工事だったのですが、写真はその西除川と新大和川の合流地点です。新大和川が付替えられた後も、こうしていくつかの課題解消のために多くの労力がかけられたことがよく分ります。尚、河川の管理区分がこの地点で分けられているのも面白いところです。

### 新大和川によって村落が分離

大和川付替えによる影響の一つとして、それまで共同生活を営んでいた村落が川によって南北に分断された結果、舟を使って農作業などに向かわざるを得なくなり生活に大きな不便が生じるようになったことが挙げられます。そして、新大和川の南側(現堺市)と北側(現大阪市)で似通った町名にな



ってしまいましたが、類似の名前が残っている場所として、浅香、瓜破(ウリワ)、遠里小野(オホ)などがあります。このうち、新大和川に架かる遠里小野橋を府道30号線に沿って堺から大阪に北上すると、写真にあるように、「堺市堺区遠里小野町(左)」と「大阪市住吉区遠里小野(右)」の町名表示板が目につきます。しかも、堺市側は例の目無しの「〇〇丁目」であり、大阪市側は「目」の付いた「××丁目」になっているなど、村落が分断さ



れ、南と北でそれぞれ新しい町名になったことが一目瞭然です。

車社会の現代ならばいざ知らず、川の付替え直後は橋が少なく向こう岸まで舟を漕いで渡らざるを得ず、その煩わしさを思いますと、行政の指図のままに強制的に生活基盤を変更させられた庶民の我慢強さに感心させられます。

### 土砂の堆積による新田の開発

生活の不便さを惹起した新大和川ですが、反面、新川が新たな土砂を大和の方から持ち込んで多くの新しい土地を産み出し、その新田から収穫できた作物によって得られた金銭は新大和川建設に要した費用を早々に賄ってなお余りあるほどだったとのこと。

しかし新田は肥沃な土地とは言えず、綿花等の限定的な作物しか得られなかったようですが、このことが逆に河内木綿の一大生産地として堺の名を広く知らしめた結果、大坂や江戸といった大きな消費地に影響力を与える経済圏を作り上げたと言えます。

右の写真は大阪市住之江区の加賀屋緑地にある加賀屋新田会所跡の扁額「古見堂（温故知新の意）」が架かる冠木門（カブキ門）です。鴻池新田、安中新田、そして加賀屋新田に会所跡が残っていますが、ここ加賀屋新田は新大和川の河口部に堆積した土砂でできた干潟を、豪商加賀屋甚兵衛などが干拓して得た新田の一つであり、新田の経営拠点として会所を設けたようです。商家の別宅でもあり、文人墨客が集まるサロンでもあり、美しい庭園や茶室が作られた、と案内パンフレットには記されています。



大阪市の指定史跡（有形文化財）の加賀屋緑地には我々の同胞でもある「住之江のまち案内ボランティアの会」のメンバーが常駐しており、懇切丁寧に大和川や新田開発の歴史話を聞かせて貰えます。是非、拝観させていただきましょう。

一方、堆積土砂は堺の港を大型船が近寄れないほどの浅瀬の港に変えてしまい、海運業や漁業にとって大きな痛手を与えたのですが、しかし他方で、重化学コンビナートの立地にとってプラスに作用したことも事実です。まさに「人間（ジンカン）万事塞翁が馬」と言えましょう。

## 《トピックスー1》

### ◇ 南海・歴史探訪ガイドウォーク幕末・維新編第二回

#### 激動の幕末！龍馬も訪れた土佐藩ゆかりの地を歩く

【岡崎 形成】

7月1日南海高野線帝塚山駅の西の公園に集合し、「南海・歴史探訪ガイドウォーク」幕末・維新編第2回が「すみよし歴史案内人の会」主催で開催されました。当日は梅雨の間で、朝早くから非常に暑い日でした。参加者131名とスタッフ34名の計165名編成です。1班20名7班編成で、9時半に出発しました。

最初は大阪市内で現存するただ一つの前方後円墳「帝塚山古墳」に登り、そして土佐藩邸跡に向かいました。ここは上町台地の崖の下にあり、500名も収容可能な屋敷跡であり、坂本龍馬も訪れています。閻魔地蔵を通り、住吉大社



本願寺堺別院 御成門

より古い生根神社に着きました。そして次に、坂本龍馬が宿泊したと云う住吉新家（三文字家跡）の前を通過して、土佐藩が5年間滞在した記念に寄進したと云われる住吉大社の常夜灯に着きました。

更に、紀州街道を南に歩きながら、お祓い橋、小町茶屋跡、難波屋跡、霰松原を通り大和橋を渡っ

て、漸くイオンモールに到着しました。非常に暑い日でしたので、ここでリタイアされる方もかなりおられました。

イオンモールで昼食・休憩をとり、12時半ごろから順次出発して本願寺堺別院に向かいました。ここでは堺観ボラの会員が定点ガイドに当たり、堺で一番大きな木造建造物や御成門その他のことの説明がありました。次に妙國寺に着き、堺事件、徳川家康、三好一族等のガイドがありましたが、向かいの宝珠院ではお寺の好意により中に入れていただき、土佐十一烈士のお墓に合掌しました。



開口神社

ここから菅原神社を通り開口神社に到着、ここでまた堺観ボラの定点ガイドで三好一族の話と三国ヶ丘高校発祥地跡、泉陽高校発祥地跡、与謝野晶子の歌などの説明がありました。

猛暑の中、最終の天誅組上陸地にやっと到着しました。堺駅で解散ですが、徒歩がゆっくりの方もおられましたので、多少遅れ気味でした。でも大きな故障者もなく無事終了しました。暑いにもかかわらず多くの方が完歩されまして、みなさん笑顔で帰っていかれました。お疲れ様でした。

## 《トピックスー2》

### \* 住吉祭と神輿渡御

【山本 満寿美】

摂津の国の一宮である『住吉大社』は堺からも近いせいか、私も子供のころから“すみよっさん”と呼び、慣れ親しんできました。中でも、1800年の歴史をもつ「住吉大社・夏祭」は大阪の三大宮祭り(天神祭・愛染祭)のひとつとされ、子供にとっては夏休みの楽しみのひとつでした。ただ、その頃はその意味もわからずはしゃいでいた夏の思い出にすぎませんでした。

2016年の神輿渡御の取材をきっかけに、堺にも大きく関係する「住吉祭」の奥深い歴史に新たな発見と楽しみを見出すことになりました。

住吉大社の祭神は神宮皇后と住吉大神とよばれる底筒男命(ソツツノオノミコト)・中筒男命(チュツツノオノミコト)・表筒男命(ウツツノオノミコト)であり、住吉大神は伊邪那岐命(イナギノミコト)が黄泉(ヨミ)の国へ行った際のけがれを海のなかで清めた(みそぎ祓い)時に生まれた神々とされています。神道で最も大切な「祓(ハラヒ)」を司る神様として住吉で祀られるようになったため、今も「おはらいの神様」「海の神様」として崇敬を受けています。

住吉祭は海の日「汐汲船」で汲まれてきた大阪湾の海水による神輿のお清めをする「神輿洗神事(ミコシライズ)」から始まり、7月30日「宵宮祭」、そして8月1日の「夏越祓神事(ナグサハラエツジ)」へと進みます。夏越祓神事とは元々は6月の晦日にするお祓いの神事でした。「住吉の夏越のお祓いする人は千年のよはひのぶといふなり」と詠みながら茅の輪をくぐります。この大祓いが夏祭として伝承されてきたのです。



大和川

さてこの住吉大社と堺とのつながりとは…

堺市堺区の宿院に『宿院頓宮』があります。「頓宮」とは「御旅所」すなわち神幸祭で神体を乗せたお神輿を休ませる場所を意味します。「夏越祓神事」を終えた住吉大神は神輿にお遷しされ、神輿を中心とする渡御行列は住吉大社から宿院頓宮までの約7キロメートルの道のりを大行列を成して

『宿院頓宮』に神幸されます。これが通称「おわたり」とよばれています。堺は古くは住吉大社領で、宝永元年(1704)の大和川の付け替え以前は大坂と地続きでした。現在は、大和川に到着した神輿は川中の祭場で大阪側から堺側への神輿の引き渡しが行われます。大阪から担いできた輿丁(ヲイ:担ぎ手)も堺に引き継がれます。神輿渡御は戦争のため中止になった時期もありましたが、今は復活を遂げ、約2.6トンの神輿が川の中を勇壮に練りまわります。



そして引き継がれた神輿は再び渡御行列に導かれ、堺市内の紀州街道(大道筋)を進みます。この頃には灼熱の太陽も西に傾き、「べえーら べえーら」という掛け声も大道筋を渡る風に乗って遠くにまで聞こえてきます。往時の神輿渡御の様子はすでに鎌倉時代の「諸神事次第記」にも見え、堺市博物館所蔵の「住吉祭礼図屏風」に描かれています。

午後8時すぎには「宿院頓宮」に到着し、「よーいよーい、よいやっさ」の掛け

け声を合図に、最後の力を振り絞るかのように盛大に“神輿振り”“差し上げ”がおこなわれます。そして「打ちまーしょ」パンパン「もひとつせー」パンパン!「いおうて(祝って)三度」パパンパン!の大阪締めめあと、神輿は拝殿前に奉安されます。このころには夜もとっぷり更けていました。

宿院頓宮には「住吉大鳥両大社 御旅所」と書かれています。

ご存じの通り、明治8年8月1日付け住吉文書の「社務日誌」に、「この年より大鳥神社宿院に神幸す」と記されており、この頃から住吉・大鳥両社の御旅所となったようです。一説にはこの頃大阪で疫病がはやり、渡御できなくなったために和泉の国の一宮である「大鳥大社」が替わって渡御したということのようですが。

そして、住吉大社で宵宮祭の行われている7月31日。堺では「大魚夜市」が行われています。花火も打ち上げられて盛大なイベントとなっていますが、実はこの行事も住吉祭に関係しているのです。渡御に合わせて地元の漁師たちが魚を海の神様の神前に奉納したそうです。その時に大浜海岸に『市』が立ったことに由来しているとか。

このように神輿渡御は堺の歴史と人々の生活に密接な関係をもって展開する祭礼です。今は輿丁も減って渡御の存続も難しい状況です。しかし、皆さんの協力を得てこの素晴らしい祭礼がずっと継続して行ってほしいと思います。

## 《堺市報道提供資料》

### 堺市博物館の古代の常設展示をリニューアルします

今回、更新した展示では、百舌鳥古墳群の構成資産候補となる大型古墳の実物資料展示を中心に充実させ、新たに6基の古墳の展示スペースを設けました。当館が所蔵する陶邑窯跡群から出土した須恵器(重要文化財)や史跡土塔から出土した文字瓦など(重要文化財)を展示するほか、ニサンザイ古墳の木製蓋形の立ち飾りやニサンザイ古墳の円筒埴輪(宮内庁所蔵)は初披露となります。その他にも、御廟山古墳から出土した冢形埴輪や家形埴輪などの宮内庁借用資料も併せて展示します。

**8月25日(土)から公開!**



## ★ 9月度月間予定表

開始時間

場 所

			開始時間	場 所
2	日	堺ボランティアまつり	10:00	山之口商店街ストリート一帯
3	月	年次リーダー会議	10:00	堺市総合福祉会館 第2会議室
		運営委員会議	14:00	堺市総合福祉会館 第2会議室
4	火	「第2回古墳巡り」研修	9:00	南海高野線中百舌鳥駅
		定点ガイド部 Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		広域連携ガイドウォーク実行委員会	13:30	大阪狭山市 市民活動支援センター
5	水	定点ガイド部 Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		「28期入門講座開講式」	13:30	堺市総合福祉会館 第3会議室
7	金	定点ガイド部 Cグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		企画部会議 (見学可)	10:00	堺市総合福祉会館 第5会議室
10	月	「さかい利晶の杜」定例調整会議	16:00	さかい利晶の杜
11	火	定点ガイド部 全体会議 (見学可)	9:30	堺市総合福祉会館
		「自転車ツアーガイド勉強会」	10:00	花と緑の交流館1階
		研修部会議 (見学可)	14:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
		「自転車ツアーガイド勉強会」	14:15	花と緑の交流館1階
12	水	第3回 南海・歴史探訪ガイドウォーク (下見)	9:30	南海高野線金剛駅西出口
13	木	J A「CROP」取材 (東区菩提町)	9:30	集合：南海高野線 初芝駅
		ツアーガイド部会議 (見学可)	13:30	堺市総合福祉会館
14	金	事業部会議 (見学可)	14:00	山之口商店街プラザ
15	土	＜協会ニュース10月号＞原稿締切り		＜広報部＞
16	日	広報部会議 (見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
18	火	堺観光情報連絡会	10:30	堺市役所2階
19	水	総務部会議 (見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		「宇治市観光ボランティアガイドクラブとの交流会」	13:00	カフェ・イロハ
20	木	27期生対象「ツアーガイドの為のまち歩き④」	9:30	利休屋敷跡
21	金	第2回全体研修会「マナー研修」	14:00	堺市総合福祉会館 大研修室
22	土	「第3回 南海・歴史探訪ガイドウォーク」 〔新田開発に翻弄されつつ守り抜いた隠田秘話〕	9:30	南海高野線金剛駅西出口
24	月	J A「CROP」編集会議 (東区菩提町)	14:00	山之口商店街プラザ
25	火	定例部長会議	9:30	堺市総合福祉会館 ミーティングルーム
		＜協会ニュース10月号＞印刷・発行作業	9:30	観ボラ・オフィス
		「さかい利晶の杜」運営調整会議	13:30	さかい利晶の杜
28	金	第24回堺新発見ツアー 〔府大構内散策と植物工場〕	10:00	大阪府立大学白鷺門前

## 【予告】

・第45回堺まつり	利休のふるさと堺大茶会・前夜祭	10月20日(土)
	大パレードほか	10月21日(日)
・秋季文化財特別公開 責任者会議		10月26日(金)
・秋季文化財特別公開	前半	11月3日(土)～4日(日)
	後半	11月10日(土)～11日(日)
・秋季文化財特別公開 報告会議		11月28日(水)

平成30年 7月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

会 員 活 動 参 加 数	正 会 員 数	234 名
	当 月 全 休 会 員 数	13 名
	会 員 活 動 参 加 数	221 名

定 点 案 内 所	定 点 案 内 所	983 名
	事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	198 名
	展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	5 名
ガ イ ド 活 動 小 計		1,186 名
ツ ア ー ガ イ ド		138 名
そ の 他	会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	198 名
	イ ベ ン ト	0 名
	打 合 せ ほ か	270 名
会 員 活 動 合 計		1,792 名

月/日	そ の 他 活 動 の 主 な 内 容	活 動 人 員
7/2	理事会・運営会議 於: 総合福祉会館	29 名
2	入会年次リーダー会議	25 名
3	勉強会「世界遺産登録について(講師:世界遺産推進室)」	114 名
9	秋季特別公開の打合せ(観音・観光部)	6 名
17	観光情報連絡会 於: 市役所	6 名
16・30	華美芝居の公演(大鳥大社ほか)	10 名
24	協会の部長会議(正副理事長と各部長)	13 名
	案内所ガイド以外の主な活動計	203 名

<来客数実績>

定 点 案 内 所 ガ イ ド	(件数)
堺 駅 観 光 案 内 所	68 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー	
一 般	1,929 名
学 童 ・ 先 生	149 名
大 仙 拝 所 前	2,119 名
南 宗 寺	641 名
山 口 家	523 名
清 学 院	261 名
利 休 屋 敷 跡	1,186 名
妙 國 寺	226 名
自 転 車 博 物 館	190 名
伝 統 産 業 会 館	618 名
利 晶 の 杜	1,573 名
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	1,628 名
ミ ニ 堺 駅 観 光 案 内 所	0 名
ツ ア ー 市 役 所 展 望 ロ ビ ー	3 名
ガ イ ド 大 仙 公 園 観 光 案 内 所	9 名
特 別 公 開 な ど	
華 美 芝 居 の 公 演	269 名
来 客 数 合 計	11,392 名
当 協 会 の 創 設 (平 成 7 年 4 月)	2,123 千 名
以 来 の 御 案 内 人 数 累 計	



【編集後記】

24時間、クーラーのスイッチが切られることのなかった猛暑は終わりでしょうか？  
今年初めて「高温注意情報」が出された場合、ミニツアーの中止の措置がとられました。  
これからは台風到来のシーズン、8月6日会員メールで気象情報

「特別警報」「避難勧告」「暴風警報」「津波警報」「大雨警報」  
が発表された場合、及び地震により公共交通機関が運行されない場合の活動中止の規定の改訂、  
及び警報発令に伴う堺市主要観光施設の休館条件についての連絡がありました  
今一度確認の上、気象情報に留意し無理な行動を避け事故のないよう、定点・ツアーガイド活  
動に間違いのないように！

佐伯勇次記